

放課後等デイサービス ルーチェ 自己評価結果(平成30年度12月実施)

		項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	学習室、休憩室を利用者の状態に合わせて使用しています。
	②	職員の配置は適切であるか	常に児童指導員3名を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	事業所内はバリアフリーですが建物全体ではエレベーターは狭く、足の不自由な方には不十分な設備となっています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	ケースカンファレンス(週1回) 公文ミーティング(月2回) 職員会議(月1回) 管理者との面談(年2回)
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	29年度から実施しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	けやきの杜の法人ホームページにて公開しています。(情報公開タグ)
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は行っていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	公文式学習の研修、SST、発達支援などについての外部研修、職位に応じた法人内部研修を受講しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	個別面談でのニーズ把握、ケースカンファレンスでの分析を行い計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用契約時におけるアセスメント表にて状況を確認しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	プログラム立案は各担当毎で行っています。支援内容についてはチームとして詳細に検討・実施をしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	固定化しているところと、利用者のニーズに合わせて変えていっているところがあります。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	利用者個々の課題について設定・共有をしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	学習指導は個別に行っています。SSTや外出・クッキングなどでは年代別の小集団を作りプログラムを行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝礼にて打合せや連絡事項・役割の確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	終了後のミーティングは出来ていません。その日の気付きはケース記録に入力し口頭でその場にいる職員同士で共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	教科、プログラムごとの様子を記録し、次回以降の学習指導、SSTにつなげています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に1回モニタリングを行い支援計画の見直しをしています。

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援をおこなっているか	学習支援、SST、ステップアッププログラム(クッキング・外出等)を行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	管理者・担当支援員で参加し共有しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	密に情報共有している学校と、必要な時のみ連絡を取る学校とがあります。行事予定や下校時間、送迎の確認は保護者を通してすることが多いです。トラブルがあった場合は学校へも連絡していきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えているか	医療的ケアが必要な子どもはこれまで受け入れていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	必要に応じて行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	必要に応じて行っています。(以前福祉サービスへ移行された方がいた時は情報提供を行ったことがあります)
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	子ども家庭支援センターとの連携、情報共有、カンファレンスは定期的に行っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動するきかひがあるか	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	法人として地域の協議会に積極的に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳、電話連絡、送迎時や個別面談時の情報交換などで共有化を図っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレント・トレーニング等の支援は行っていません。
保護者への説明等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時に説明を行っています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の話をうかがい、必要な支援や社会資源の情報提供、進路先などについて助言させて頂いています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	31年度の早い時期に保護者会を開催したいと思います。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情について共有し対応しています。どうするべきか、なぜそうなったかを検証、検討しています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月活動予定を配布しています。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	法人全体で注意する取り組みを行っています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	個別の状況に合わせた対応を行っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	法人行事には地域の方に多く参加して頂いていますが、事業所単独では実施していません。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルは策定していますが周知出来ていません。周知していく必要があります。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	毎月1回第1土曜日に避難訓練をしています。他の曜日でも実施していきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年1回は必ず虐待防止に関する研修の機会を設けています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	契約書に記載しています通り、生命又は身体を保護する為緊急やむを得ない場合を除いて身体拘束は行いません。身体拘束が必要な場面がこれまでなく計画に載せたことはありませんでしたが、必要なケースが出てきた場合は十分な説明と計画への記載を行います。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	利用開始時の保護者への調査のみ行っています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットを集め確認しています。